ま　え　が　き

令和３年度は、東京オリンピック・パラリンピックと北京冬季オリンピック・パラリンピックがともに開催された記憶に残る年になりました。スポーツクライミング競技での銀・銅メダル獲得をはじめ、それぞれの大会での日本選手団の活躍から、たくさんの感動と元気をいただきました。山岳スキー競技が2026年冬季オリンピックの正式競技となったことも話題になりました。

新型コロナウイルスに関しては、夏の第５波、冬の第６波と収束・拡大を繰り返し、今年度も対応に苦慮した１年でした。

こうした中、当研修所ではWithコロナに対応した登山を推進するためにオンラインを活用した研修会やセミナーを実施したところ、安全登山サテライトセミナー（オンライン）では２日間で423名と予想を超える多くの参加者に安全登山に関する情報を発信することができました。今後、このようなオンライン研修とオンサイト研修を組み合わせたハイブリット型の研修方式を取り入れ、より研修会の充実を図りたいと考えております。

さて、「登山研修vol.37」は登山に関する調査研究や登山界の現状や課題に加え、「Withコロナに対応した登山」の実践や「Afterコロナ」を見据えての記事、オリンピックイヤーならではのスポーツクライミングや山岳スキーに関する記事についても寄稿いただきました。

より多くの皆様に読んでいただくことを期待すると同時に、新型コロナウイルス感染症の１日も早い終息を願っております。

末筆になりましたが、お多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和４年３月

国立登山研修所長　藤　原　　洋